

● 梱包別部品一覧表

内施錠付引戸を組み立てるには、次の部品が必要です。  
梱包内の部品数を確認の上、組立順序にしたがって  
組み立ててください。

※( )内は、Sタイプを示す。 MG:ミストグレー FG:フランネルグレー

MG:HH-3760 (HH-3660)  
FG:HM-3760

部 品 名	数
内施錠付引戸枠左S	1
内施錠付引戸枠右S	1
扉枠支柱H(S)	2
M 6 ボルト	13(9)
ネジ板B	5
戸車調整用ボルト	2
MG ボルトキャップN/GR	8
FG ボルトキャップN/FG	8
組立説明書	1

Hタイプのみ

部 品 名	数
MG:H9-3262 FG:HM-3769	
サイド扉上パネル/K3	1

部 品 名	数
MG:HH-3661 FG:HM-3661	
内施錠付引戸正面パネルS/K3	1

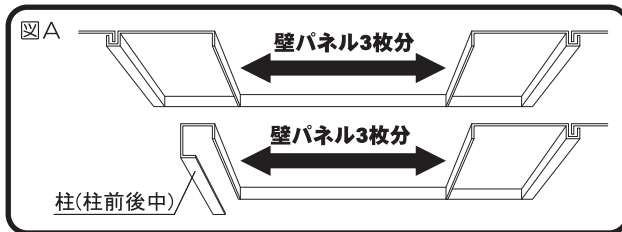
部 品 名	数
MG:HH-3761 FG:HM-3761	
内施錠付引戸扉中S/K3	1
内施錠付引戸扉前S/K3	1

部 品 名	数
MG:HH-1360 FG:HM-1360	
内施錠付引戸鴨居/K3	1
内施錠付引戸敷居/K3	1

(注) 部品袋に入っているボルト・ネジ板は標準型パネル仕様の不足分です。  
(注) 部材には製造番号ラベルが貼ってあります。組立の時、万が一不具合が  
起きた場合は、必ずその製造番号を確認の上、ご連絡ください。

★組立上の注意

壁パネルと壁パネル、柱と壁パネルとの間に内施錠付引戸を取り付ける場合は、必ず図Aのようにしてください。

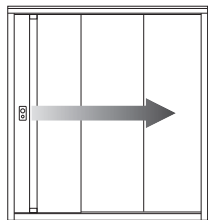


■柱前寄りに扉を取り付ける場合

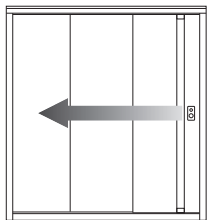
※FM(床付タイプ)・DMの時は、取り付けできません。  
※FM(土間タイプ)・FFの時は、シャッター寄りに正面パネルを取り付けてください。

■右開き(逆開き)にする方法

扉は標準(工場出荷時)では、左開きにセットされています。

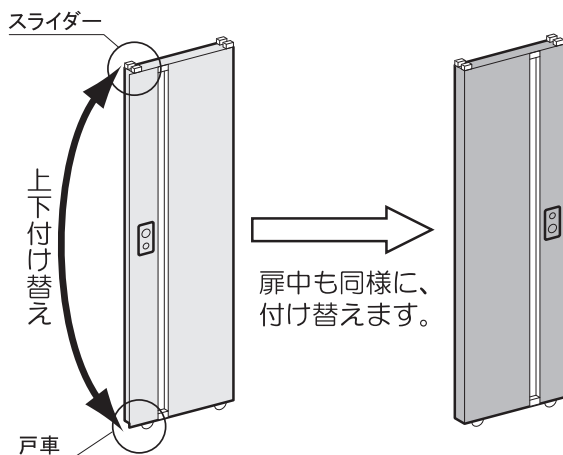


左開き(標準)



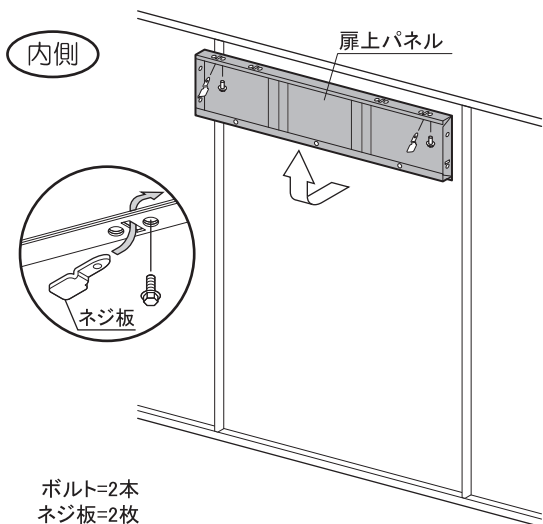
※右開き(逆開き)

扉前、扉中についている戸車とスライダのボルト  
をはずし、上下を入れ替えます。



1.扉上パネル取付(Hタイプのみ)

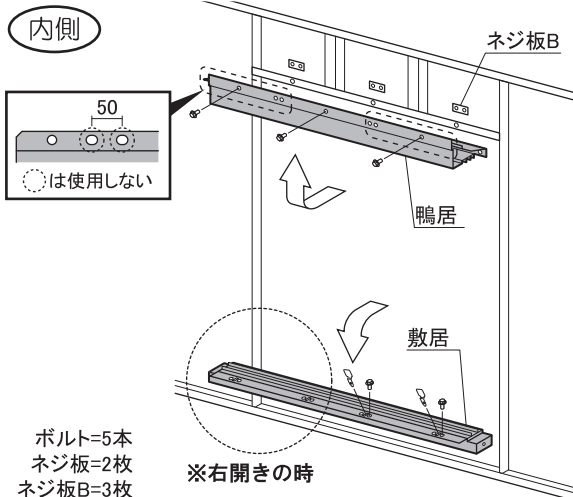
扉上パネルをボルトとネジ板で取り付けます。



ボルト=2本  
ネジ板=2枚

2.鴨居・敷居取付

鴨居をボルトとネジ板Bで取り付け、敷居を土台にボルトとネジ板で取り付けます。  
※右開きの時は、点線内の位置で固定してください。



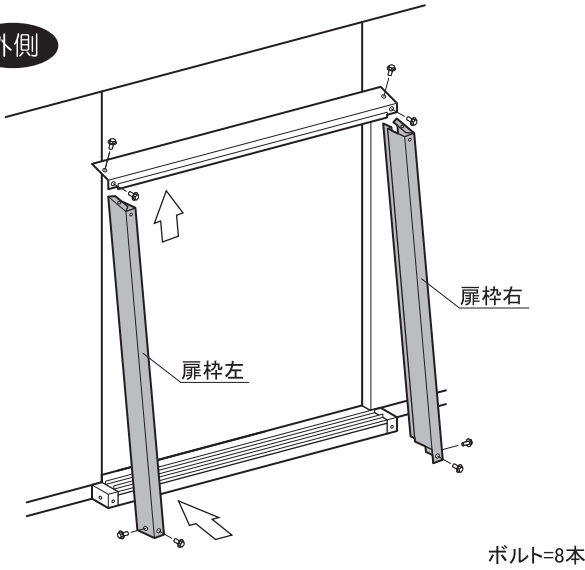
ボルト=5本  
ネジ板=2枚  
ネジ板B=3枚

※右開きの時

### 3.扉枠左右取付

扉枠左、扉枠右を鴨居と敷居にボルトで取り付けます。

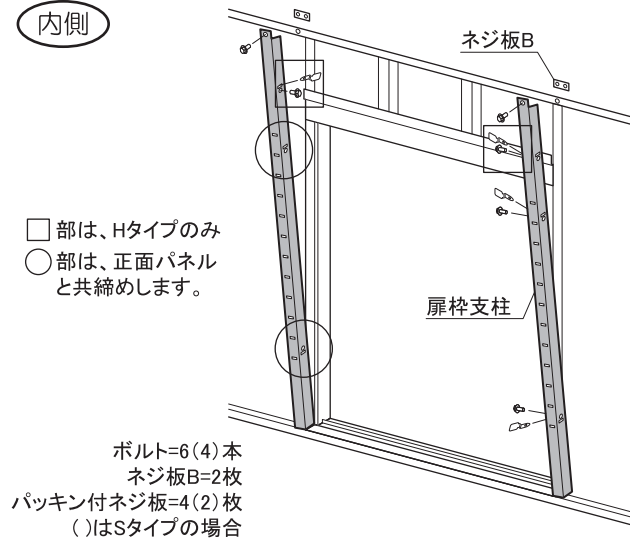
外側



### 4.扉枠支柱取付

扉枠支柱は上部をボルトとネジ板Bで取り付け、縦方向はボルトとパッキン付ネジ板で扉枠と共締めします。

内側

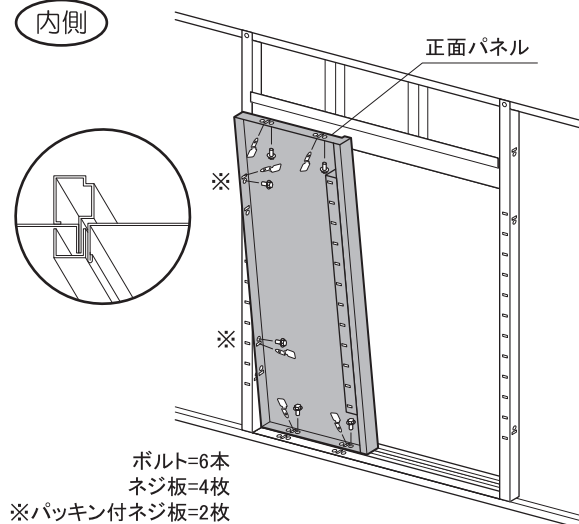


- 部は、Hタイプのみ
- 部は、正面パネルと共締めします。

### 5.正面パネル取付

正面パネルをボルトとネジ板で取り付けます。  
※右開きの時は、正面パネルを右側に取り付けます。

内側



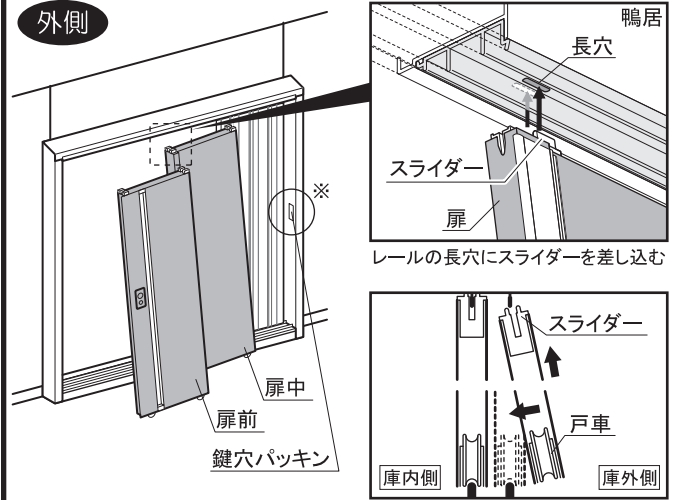
### 6.扉取付

扉中、扉前の順に上部スライダを鴨居のレールの長穴に差し込み、下部の戸車を土台のレールにのせて扉をはめ込みます。

※カギは扉の裏側に貼り付けてあります。

※右開きの時は、鍵穴パッキンを反対側に取り付けます。

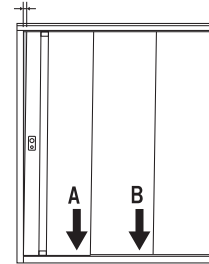
外側



### ★戸当たり調整

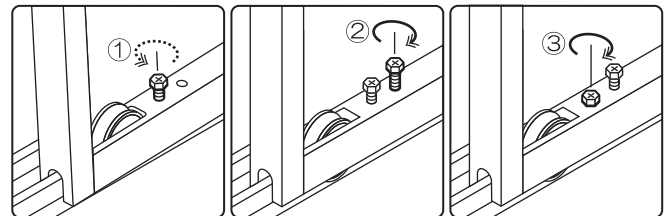
扉を閉めて下図のようにスキマが出来た場合は、A・B部の戸車を①②③の手順で調整してください。

※5mm以内



- ①戸車を固定しているボルトを4～5回転ゆるめる。
- ②部品箱内の戸車調整用のボルトで戸当たりを調整する。
- ③最初にゆるめたボルトを締め付ける。

※5mm以上のスキマや上記の要領で調整できない時は、土台の水平を直してください。



### 7.完成

外に出ているボルトにボルトキャップを取り付け完成です。  
●錠の操作方法については、本体の取扱説明書をご覧ください。

外側

